



***** 委員長挨拶 *****

中村 克宏

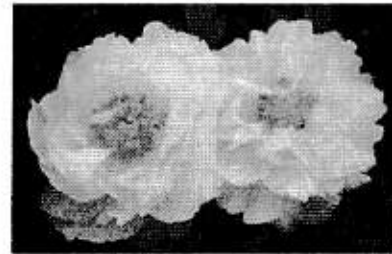
昨年は運営委員会内での役割分担、宮城野原コートの使用など委員各位の努力で切り抜けることができました。いくつか残された問題はありますが、焦らず前進することが必要だろうと思います。

仙台市以外の会員を増やし、その方々の独自の活躍の場もつくれないものかという思いは、昨年の岩沼で行ったいわきとの親善試合に仙台市以外の会員に多数参加頂いたことでいっそう強まりました。仙台市以外の方1, 2名に委員をお願いし、年に2回程度委員会に出て頂ければと考えていますが、かなりのご負担をおかけすることになり、



具体的にどうするかは、問題点を洗い出して対処することは勿論ですが、適当な方の推薦、ご意見など会員皆様からぜひお寄せ頂きたいと願っております。

Weekday 交歓会についても実施回数が最も多く、いわば当連盟の骨格をなすものですが昨年度は競技委員の方々の努力でいくつかの工夫が加えられまして、好評であったように聞いております。これも皆様がたのご意見が寄せられて一層充実したものになることを期待しております。



◆ 目

次 ◆

委員長挨拶	中村 克宏	1
活動報告	競技主任 佐々木 宏昭	2
年齢別ダブルス大会		2
技量別ダブルス大会		2
混合ダブルス大会		2
年齢別ダブルス大会(平成17年度)		3
対いわき VTC 親善テニス交流大会		
	有賀 吟生	3
連盟祭り		4
Weekday 交歓会	土生 寛、外山 坦	4
「ありがとう!」「そして感動!・感謝!」		
	樋口 義修	5
東北マスターズ大会に参加して		
	坂本 政祀	6
ねんりんピック静岡2006[テニス交流大会]		
ベスト8!	小田島 正勝	7
入会した理由	城田 陽子	7
いきいき 一年生	菊池 繁夫	8

テニスを通じてよい人間をつくれ		
	佐藤 富男	8
プロスポーツテレビの見過ぎによる独断、偏見		
	中村 克宏	9
平成18年度総会報告		
	副委員長 和田 忠彦	10
平成18年度行事実績・決算・予算報告		11
平成19年度年間行事予定	事務局	13
運営委員会の現状と課題		
	副委員長 和田 忠彦	14
諸行事の参加申込方法	事務局	15
主要大会要項	事務局	16
アンケート結果の概要とその対応策		
	WD交歓係	18
会員名簿	事務局	19
連盟規約	事務局	25
平成19年度の役員と担当任務	事務局	26

◆ 活動報告 ◆

競技主任 佐々木 宏昭

年齢別ダブルス大会

若葉の風薫る絶好のテニス日和に恵まれた5月6日、上記大会が66名（男子38名、女子28名）の参加を得て、七北田公園テニスコート8面を使用して開催されました。試合は各種目毎に総当り戦、セミアド、6ゲーム先取（5-5オール、7Pタイブレーク）方式を採用して行われ、種目毎の総ゲーム数は男子120歳以上44.7、130歳以上33、140歳以上42.5、女子110歳以上43、120歳以上38.4、130歳以上：140歳以上35.3にもなり、かなり厳しい試合になりました。

特筆すべきは男子140歳以上に出場された光本氏は参加者中82歳の最高齢ながらリーグトップの50ゲームを戦い、第三位に入賞されたことであります。このことは、我々いきいきテニス連盟の多くの会員にとって大いなる励みであり、目標であり、賞賛に値することであると思います。各種目の優勝者は下記の優勝者一覧に示される通りです。なお、今後の検討課題としては、総ゲーム数を考慮して年相応の無理のない大会の運営方法を採用する必要があると思われま

平成18年度三大大会優勝者

大会名	種目	優勝組
年齢別D大会 5月5日 七北田公園コート	女子140歳以上	梅崎千枝子・石垣晴子
	女子130歳以上	八重樫トモ・鈴木瑛子
	女子120歳以上	千葉みちこ・後藤玉子
	女子110歳以上	跡辺清子・美村景子
	男子140歳以上	北野寿一・三木部吉
	男子130歳以上	松山真水・村上実
技量別D大会 10月22日 七北田公園コート	Aクラス	佐々木宏昭・杉山辰
	Bクラス	館内規之・佐藤清二
	Cクラス	後藤玉子・千葉みちこ
	Dクラス	佐藤富男・八重樫トモ
混合D大会 H19.3月3日 シェルコム	Aクラス	新田英彦・本野ゆみ子
	Bクラス	村上実・千坂三月
	Cクラス	石田哲也・石田美津子
	Dクラス	田中稔・丸谷美智子

技量別ダブルス大会

秋晴れ無風の絶好のテニス日和に恵まれた10月22日（日）、七北田公園テニスコート8面を使用して、表記大会が開催されました。参加者総数66名、Aクラス7組、Bクラス10組、Cクラス7組、Dクラス8組で、各クラス毎総当りの熱戦が繰り広げられました。Bクラスのみ2つのブロックに分かれ、ブロック内で総当り戦の後、順位決定戦が行われました。

大会は委員長の挨拶、佐々木競技担当の大会要領の説明、菊地功会員による準備体操の後、9時半から試合が開始されました。天候にも恵まれ、1人の怪我人もなく試合は順調に進行し、全試合が終了したのは午後4時10分頃でした。引き続いて各クラスの入賞者の表彰式があり、大会は無事終了しました。秋の日は短く、帰る頃は早や薄暗くなりかけていました。優勝者は左記の優勝者一覧に示す通りです。

混合ダブルス大会

平成18年5月6日に七北田公園コートで行われることになっていた混合ダブルス大会が、雨のため中止となり代わって19年3月3日に、78名（A,B,C各クラス12組、Dクラス3組）の参加を得て、シェルコムせんだいで開催されました。いつものように、委員長挨拶、佐々木競技主任の大会要領の説明、和田委員による準備体操の後、試合が開始されました。

A,B,C各クラスとも参加者多数のため、受付時くじ引きにより6組ずつの2つのグループに分かれ、グループ内総当りの予選が、4ゲーム先取制（3-3時、7Pタイブレーク）で行われ、3組のDクラスは6ゲーム先取制（5-5時7Pタイブレーク）で行われました。試合は順調に進行したのですが、予想していたより時間がかかり、予定していた順位決定トーナメント戦が実施できなくなり、A,Bクラスは7Pタイブレーク決戦により、Cクラスは勝数、得失ゲーム数による勝率により決定することになりました。各クラスの優勝者は左表に示す通りです。

平成17年度年齢別ダブルス大会

平成17年5月7日に開催予定の上記大会が、当日のあいにくの雨のため中止となり、代って18年3月25日シェルコムせんだいで開催されました。そのため、試合結果の報告が前号に間に合わず、ここに報告することに致します。

試合は1セットマッチ「6-6オール(7P タイブレーク)」方式や今回初の試みとして、年輪ピック・ルールであるショートセットノーアド「4-4オール(7Pタイブレーク)」方式で行われたクラスもありました。新方式に少々とまどいも見られたものの、ご理解いただけたかと思っております。参加予定者の一人の欠席者もなく、また一人の怪我人もなく、試合は無事終了し、4時45分

には表彰式が行われ大会は終了しました。各クラスの優勝者は下記の通り。

平成17年度年齢別ダブルス大会優勝者

大会名	種目	優勝組
年齢別D大会 H18年3月 25日 シェルコム せんだい	女子140歳以上	鈴木瑛子・石垣晴子
	女子130歳以上	加藤信子・北野妙子
	女子120歳以上	佐藤勝子・波谷みよ
	女子110歳以上	工藤真理子・布留川三枝子
	女子110歳以下	日高登志子・遠藤慶子
	男子140歳以上	中村克宏・本林高利
	男子130歳以上	松山真水・池田稔
	男子120歳以上	佐々木宏昭・和田忠彦
男子120歳以下	庄可信雄・高橋洋二	

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

対いわき VTC 親善テニス交流大会

有賀 吟生

平成18年9月9日(土)、10日(日)の2日間に亘って、いわきベテランテニスクラブ(VTC)との20回目となる記念すべき親善交流大会が、グリーンピア岩沼テニスコート6面を使用して開催さ

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

れました。初日は今にも雨が降り落ちてきそうなどんよりした空模様でしたが何とか持ち堪え、2日目は一転して好天気恵まれ、大会は躊躇に進行しました。参加者はいわき側男子8名、女子17名、計25名、みやぎ側は男子21名、女子26名、計47名、総計72名でした。いわき側の参加者が



みやぎ VTF といわき VTC との親善交流大会の参加者(グリーンピア岩沼にて)

WeekDay 交歓会の状況報告

WD 交歓会委員 土生寛、外山坦

少なく、特に男子が8名と少なかったため、みやぎ側から11名派遣して人数の調整が行われました。

試合は男子、女子、混合各ダブルスの3種目、6ゲーム先取、5オール7ポイントタイブレーク、セミアドバンテージ、40分時間制限方式で行われました。各参加者は2日間で4ないし6試合行い、総試合数は81試合でした。みやぎ42勝、いわき35勝、4引き分け、という結果で、みやぎ側が勝利し、夜の盛大な懇親会を含めて大会は無事終了しました。

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

連盟祭り大会

第8回連盟祭りが11月5日(日)、秋晴れ無風絶好のテニス日和に恵まれて、七北田公園テニスコート8面を使用して行われました。71名(男子35名、女子36名)の参加者は予め赤、青、緑、桃の4チームに分かれ、各チームは男子ダブルス3、女子ダブルス3、混合ダブルス3、計9組で編成され、各チーム総当りの対抗戦の形で大会が行われました。

大会は委員長挨拶、佐々木競技委員の試合要領の説明、三浦邦夫会員による入念な準備体操の後、9時40分試合が開始されました。試合は6ゲーム先取、セミアドバンテージ、5オール7ポイントタイブレーク方式で行われ、好天にも恵まれて順調に進み、全ての試合は2時半頃には終了し、10分間の休憩後、表彰式が行われました。

勝敗はチームの勝数の多少で決められ、優勝は桃チーム、2位は勝数が同数のチームが2つあったため、男女のキャプテンのジャンケンで決することにし、結局、青チームが準優勝、赤チームと緑チームが敢闘賞ということになりました。賞品は例年好評のワインで、全チーム共通とのことでした。親睦を旨とする会に相応しい大会と賞品ではありました。

11月にしては暖かく、一人の怪我人もなく、無事終了したことは何よりも幸いでした。大会が思ったよりはやく終わったため、その後コートは参加者に開放され、体力、時間に余裕のある人は、更にテニスを楽しんで帰路につきました。

今年度の実施予定回数は前年度同様の11回でしたが、6月、10月の宮城野原会場の2回が雨天のため残念ながら中止せざるを得ず、9回でした。最初に、

<会場と参加人数について>

これまで親しんできた宮城野原コートは楽天球団の進出で屋内練習場建設地となり、変わって陸上競技サブトラックが潰されて、そこにコートが新設されました。

運営委員会では、新コートには緑陰がないだろうと判断し、真夏時にも緑陰のある民間施設2ヶ所を準備しました。「南インターテニスクラブ」と「泉パークタウンテニスクラブ」です。加えて、梅雨時の対応策として、6月の「シェルコム仙台」会場も新企画として準備しました。

「南インターテニスクラブ」会場は、コートの西側に3メートル程高くなっている休憩所があり、そこにはブドウやキーウィの棚があって、その下に椅子とテーブルが並べられてあり、そこからゲームの様子を一望できました。更に、目を彼方に移せば、フェリーの浮かぶ青い太平洋が、また、南側には名取川対岸の緑の山並みを望むことのできる眺望も良い所でした。しかし、市南部にあり初めての不案内な会場の故か、残念ながら参加者は少数でした。

「泉パークタウンテニスクラブ」会場は、市北部にあるという点を除いては問題点はなし。ただ当日は、多くの会員が入っているN会の例会とかち合ったことから参加できなかった方も多い状況もあったようで、39名の参加でした。

因みに、以上の二会場の確保には、高橋(龍)幹事、中村委員長のお力添えがあり、使用料金も有り難いことに県営コートと同じにして頂いた。6月の「シェルコム仙台」会場は、内容はWD交換会でしたが、会報への記載は備考欄に“自由参加”とあるものの、行事名が“ダブルス大会”とあったのが災いしたかも?。“パートナーを組んでの参加かな?”と迷われた方、或いは、当日の好天に“わざわざ「シェルコム」までは?”とブレーキがかかった方などがおったのか?。残念ながら6面のコートなのに多々余る状況でありました。

肝腎の宮城野原コート会場についてですが、新設だけにサーフェスこそ良好であるものの、場内の駐車は“一面に付き3台だけ、それ以上はJR跡

地(歩いて5、6分かかる)へ”という駐車場が問題点でした。それがためか?、参加者は前年平均35名であったのに比し、約29名と少なくなってしまったことは誠に残念なことでした。次に、

＜交歓会の内容について＞

従来どおりの自由取り組み戦の6ゲームノーアド制(参加者が多い時間帯は4ゲーム制)。女性競技委員の当番のお世話の下、会員同士ならではの和気藹々のなかにも、どちらも負けじの熱戦や上手への果敢な挑戦 vs 余裕の応戦等の風景、また、待機時間やお昼の時間を楽しく過ごしている風景等は相変わらずで、従来どおりの素敵な交歓会でした。

新試行の「ワンポイントレッスン会」は、連盟内のテニス指導員有資格者をお願いしての希望者へのレッスン。回数は全7回、毎回80分(10:30~11:50)を目処に実施した。レッスンへの参加者は平均20名程(少ない時15名、多い時25名)でした。

会場とコーチは次の通り(敬称略)。

- | | |
|--------------|---------|
| 6月のシェルコム仙台 | : 佐々木宏昭 |
| 7月の南インターTC | : 館内規之 |
| 8月の泉パークタウンTC | : 青木興一 |
| 9月の宮城野原コート | : 和田忠彦 |
| 11月の宮城野原コート | : 松山真水 |
| 1月のシェルコム仙台 | : 佐々木宏昭 |
| 2月のシェルコム仙台 | : 渡辺貞夫 |
- 内容は基本的なフットワーク、ボディワーク、

リストワーク、ハンドワーク、ストローク、ボレー、スマッシュ、サーブ、サーブレシーブ、ポーチ、ポジショニング等の単一プレー、コンビネーションプレーについて、各回二つ、三つを教えて頂いた。

コーチの皆様への係りからの事前連絡は、口頭でのそれまでのレッスン項目の報告のみで恐縮でしたが、的確なプログラムで親身のご指導を頂きました。

参加の皆さんも感謝の気持ちの感じられる熱心さで、コーチからの“この調子ならレベルアップは間違いなしですよ”の講評に、勇躍実戦ゲームに取り組む姿があり、各回とも好評裏に終了しました。

以上で、今年度のWD交歓会の状況報告といたしますが、会員の皆さんと共に、中村委員長・運営委員の皆様、レッスン会講師及び当番の女性委員の方々のご協力に心から御礼申し上げたいと思います。

さて、新年度についてですが、年末に会員の皆様に、WD交歓会についてのアンケートをさせて頂きましたが、係りとしては寄せられたご意見・ご提言・ご要望を活かして、19年度WD交歓会の一層の充実を図りたいものと思っております。ぜひ、みんなで、いきいき連盟を大切にすることを、大勢が賑やかに集う、いい交歓会にしましょう!

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

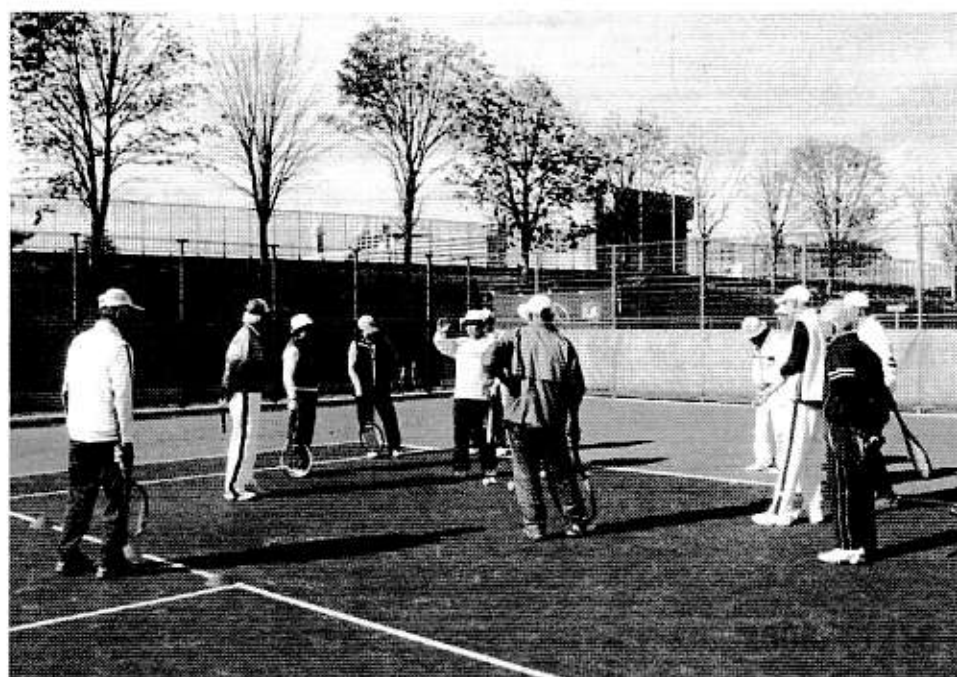
◆「ありがとう!」そして

感動!・感謝!◆

樋口 義修

私自身、前任地が福島支社ということで、面積が日本一広い「いわき市」(東北の湘南)にも毎月2回は足を踏み入れていました。そこで、初めて「めひかり」に出会い、懐かしい思いで、今回の交流会を楽しみにしておりました。

「いきいき」に加入させて頂いて早4年。今回は「宴会」も「いわきとの交流会」も初体験ということで、1カ月前からワクワクドキドキ。まるで



ワンポイントレッスンの練習風景の一コマ

遠足を待つ小学生のようなハシャギ様に、冷静な妻は「バ～カ！」と言わんばかりの冷やかな視線の日々。

さて、当日は残念ながら、「宴会」からの参加となり、テーブルに着いてはみたものの周りは知らない人ばかりで、まるでお見合いの席に座らされた乙女のごとく心臓はバク・バクと今にも張り裂けそうでした。でも、すぐに和やかな雰囲気になり飲み込まれ、知らないうちに、はしゃいでいる自分に気付いた時には、いつものフィーバーで「時既に遅し」。

翌日の朝は、大事な試合を控えて完全な二日酔い。折角、日曜日のミックスダブルスはフル出場という役員さんの暖かいご配慮を頂いたのに！！試合慣れしていない私は、頭はクラクラ、足はガクガク。サーブは入らない、レシーブは返せない、まるで対戦相手は「アガシかシャラポワか？」・・・「おお神よ、我を助けたまえ！」でも、第3試合頃からようやく緊張も解けて、試合を楽しめるようになりました。

そして、最後の試合は、まるでウィンブルドンのセンターコートでファイナルに臨むアガシの心境で普段の実力の数倍のパワーを発揮、「終わり良ければ全て良し」とひとり至福の喜びに浸ることが出来ました。

こんな喜びと感動を与えてくださった役員の方の皆さんのボランティア・スピリッツにはただただ頭が下がります。おかげさまで生涯忘れえぬ楽しい思い出がまた一つ増えました。役員とメンバーの皆さんに心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

◆第16回東北マスターズ大会に参加して◆ —雨天による恵みの勝利—

坂本 政記

今年の東北マスターズテニス大会は平成 18 年 10 月 5 日（木）～6 日（金）に盛岡市大田スポーツセンターで開催されました。岩手県ロングテニスクラブの主管で行われ 218 名（女子 84 名、男子 134 名）が参加し、110 歳以上から 140 歳以上（女子）と 150 歳以上（男子）のペアーさらに男子は 80 歳以上ペアーまで大変多くの方々東北 6 県が

ら集まりました。

初日は良い天気で大いに若さ溢れるプレーを発揮して、テニスを存分に楽しみました。そして、夜の一堂に会した懇親会でも華やかに大いに盛り上がり、地元岩手の玄人肌の踊りや民謡等をはじめ、各県の余興が続々と出され大変に賑やかな雰囲気になりました。

ところが、翌朝から雨が降り続いており残念ながら二日目は中止となってしまいました。

そして我々の坂本・西澤ペアーには思わぬ恵みの雨となり、はからずも 120 歳以上男子で優勝してしまいました。初日の結果は参加 11 ペアー中で我々が 2 勝（6/0,6/2）0 敗でした、しかし他に 3 勝（6/1,6/1,6/2・3）0 敗が 3 ペアーもありました。雨天中止で順位決定方法が変り勝数の多い方ではなく取得ゲーム率の大きい方に変更されたため、我がペアーは 3 勝の 3 ペアーより高い取得ゲーム率であったため優勝が転がり込んできました。雨天さまさまとペアーの西澤さんと一緒に大喜びしました。さらに驚いたことは、我々よりも幸運なペアーがあったことです。その幸運なペアーは 140 歳以上で優勝した有賀・海野ペアー（3 勝 0 敗 1 分：6/1,6/1,6/2,4/4）でした。

それは表彰式で優勝者を間違える珍事が発生したことです。我々が優勝で表彰された後 140 歳以上で有賀・海野ペアーが 3 位までにも呼ばれずに別のペアーが呼ばれ表彰されてしまったのです。直に有賀さんが抗議して表彰式後に訂正され優勝の表彰がなされました。試合結果は有賀ペアーが 3 勝 0 敗 1 分で、他に 4 勝 0 敗ペアーが 3 チームも有ったので 4 勝に着目してしまい間違ったようです。取得ゲーム率は引き分けゲームが有った有賀チームが最高であると確認され、改めて表彰式後に優勝の表彰を受けました。ちなみに初め優勝表彰を受けたチームは 3 位にも入らなかったようです。



今回のマスターズ大会は雨天の恵みを受けて大変に楽しく印象深い思い出を残してくれました。

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

◆ねんりんピック静岡2006◆

【テニス交流大会】ベスト8！

監督 小田島 政勝

10月29・30日沼津市愛鷹運動公園テニスコートにおいて「ねんりんピック静岡2006テニス交流大会」が開催されました。ご承知の通りこの大会は、全都道府県および政令市から64チームが参加し、それを16ブロックに分けて予選リーグ戦を行い、各ブロックの1位チームによる決勝トーナメントが行われるものです。試合は4ゲームマッチで行われました。

【70男子選手】高橋 哲太郎・浅野 隆郎

【60女子選手】渋谷 陽子・酒井 倭子

【60男子選手】坂本 政紀・西澤 隆

10月29日（日）予選リーグ戦

仙台市はJブロックに入り愛知県・栃木県・広島県の4チームで戦いました。結果としては2勝1敗で1位となり、決勝トーナメントに進むことができたが、とにかく各チームとも相当鍛えられた選手ばかりで大変な激戦となりました。

第一試合は愛知県 【結果：1-2で敗れる】

先発の高橋・浅野組が頑張りました。高橋選手が体調を崩して息切れがひどく心配しましたが、何とか守りのテニスを貫いて4-2で辛勝しました。2番手の渋谷・酒井組そして3番手坂本・西澤組とも1-4で押し切られ敗れてしまいました。

第二試合は栃木県 【結果：2-1で勝利】

ここでも先発の高橋・浅野組が安定したプレーでまず1勝。2番手の渋谷・酒井組善戦するも、栃木女子の上手さにやられてしまいこれで1勝1敗。いよいよ3番手の坂本・西澤組にチームの明暗をかけることになりましたが、これも大変な試合になりました。取って取られての大熱戦のなり、結局タイブレークを7-5と制して逆転勝利となりました。

第三試合は広島県 【結果：2-1で勝利。1位で決勝トーナメント進出】

先発の高橋・浅野組は大接戦の末タイブレークでまず1勝をあげ、2番手の渋谷・酒井組も頑張りました。午後になってやっと調子を上げてきた渋谷選手の低く相手の足元に食い込む本来のボールが戻り、その浮いたボールを酒井選手が「えいっ」と角度をつけて打ち込む形が戻りだし大接戦の末勝利をものにしました。Jブロック1位で決勝トーナメント進出です。

10月30日（月）晴れ 決勝トーナメント（ベスト16）

1回戦は（札幌市）【結果：2-1で勝利しベスト8に進出しました！やりました！】

高橋・浅野組はここでもタイブレークの大接戦でなんと4連勝！きのうの初戦では体調を崩していた高橋選手も元気を取り戻し、力強い浅野選手との息もピッタリでした。調子の出てきた渋谷・酒井組はいい打ち合いでしたが、結局タイブレークで力負け。しかし、3番手の坂本・西澤組は素晴らしいゲームをしてくれました。坂本選手のスライス系のバックハンドストロークと西澤選手のきれいなフォアハンドストロークが札幌を圧倒し、4-0の気持ちいい勝利でした。

2回戦は埼玉県との対戦になりましたが、ついに力尽きました。ここまで来ると強いチームは強いという感じがします。先発の高橋・浅野組が敗れるとともに、渋谷・酒井組も埼玉女子に圧倒的な力でねじ伏せられてしまいました。結局0-2で埼玉県に敗退しましたが、宮城県としては初めての5位（同率）【優秀賞】のメダルをいただくことができました。

2日間に亘る熱戦は、団体戦特有の面白さと緊迫感があり、ベンチで見ているだけの私も、仙台に帰って、しばらく「気持ちいい」グツタリでした。いつの日か選手の皆さんとは長町南（？）あたりで、“ねんりんピックのあの時”を肴に飲みたいものです。

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

わ け ◆入会した理由◆

城田 陽子

四年前、母が倒れて転勤先から仙台に帰って来ました。三年前、泉パークタウンテニスクラブの会員になりました。

介護の合い間のテニスで、なかなか友達もできず、思うように練習もできなくて、もう終わりかなあと、あきらめ半分、テニスやりたさ半分で、のらりくらりとパークに通い、丘の上からみなさんのプレーを眺めていました。

そんな中、声を掛けてくれたのが、元気はつらつなおじ様方です。みなさんやさしかったです。ゲームは匠な技と、みごとなコントロールで容赦なく遊んでくれました。そこで、この「みやぎいきいきテニス連盟」の事を教えてもらいました。いろいろな試合があって目標だってもてる。いく

つになっても楽しめる場所、活躍できる場所がありますよ。あきらめない事です。と励ましてもらった様な気がします。

また更年期が辛くて人に会うのが嫌いになっていた時、先輩からアドバイスを受けました。テニスを通して何げない会話の中で経験談を聞いたり、聞いてもらったりする事で、ちょっとしたきっかけができて気持ちが軽くなりました。今までいつもテニスの仲間が友達だったり、人生の相談役でした。仙台に来てご近所付き合いの少ない私には、これからは、もっともっとこうした仲間が必要で大切になってくるのではないかと思います。

テニスはもちろん、人生の楽しみ方まで幅広くお付き合いできる仲間を求めて、大きな期待をもって入会させてもらいました。末ながが一くよろしくお願いします。

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

◆いきいき 一年生◆

菊池 繁夫

平成18年度より、いきいきテニス連盟に入会しました。会員の皆様と親睦を計りながら、テニスの研鑽に努めたいと考えております。なにせ古希も真近の身ですので、肉体的には限界を感じますが、一歩なり共、前進する様、気持ちだけは失わない様、努力したいと考えております。

さて、私のテニス歴は、昭和六十三年、石巻ローンテニスクラブ入会が始まりで、以前には、職場や地域の方々と野球を中心に体を動かしておりましたが、四十五歳過ぎより運動量も少なくなり、特に冬場になると極端に減少しました。幼少の頃より体を動かす汗をかくのが習慣で、運動しないと、体調が勝れず、縄跳びや散歩に挑戦するも、興味が湧かず、長続きもしませんでした。何か良い運動がないかと、色々検討した結果、テニスクラブに辿りつきました。

このクラブは、一人で行ってもオーナーが相手をして呉れますし、多少の風でも、日和山の陰にあるため、影響が少なく、絶好の場所にあります。テニスは職場の仲間と年に数回ソフトテニスで遊ぶ機会がありましたので、本当の初心者ではありませんでした。オーナーの指導で少しずつ上達していきました。当初は健康志向で始めたのですが、興味が増し、クラブに行くのが楽しみになりました。試合にも出られる様になり、何とか形が出来てきました。

その後、都市対抗にベテランの部で数回出場の機会がありましたが、結果はあまり芳しくありませんでした。六十歳を過ぎてから、県のマスターズ大会に出場する様になりました。しかし、仙台の方々と対戦すると好結果は得られませんでした。敗因は、今迄の練習方法にあることではないかと思ひ、見直しの必要を痛感し、遅まきながら、いきいき連盟に加入する事にしました。

早々に練習会に参加してみると、層の厚さと、技能の高さに驚きながら、練習に励んでみました。今までの練習方法と最も違う点は、繋ぎとミスをいかに少なくする事が大事かがわかりました。今後はこれらを磨くと共に、自分の持ち味を十分に活かせればと思っております。幸い、皆様のご指導のお陰で十一月の県のマスターズで(+60)、パートナーのおかげもあって優勝する事が出来ました。

今後共、テニスを楽しみながら、生き生きと健康に暮らせればと思っております。

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

◆テニスを通じてよい人間をつくれ◆

佐藤 富男

慶応義塾大学で、テニス選手、テニス部長、塾長等として、我が国の経済界、教育界にご貢献された、小泉信三先生には、「練習は不可能を可能にする」という、随筆があります。スポーツを通じて、よりよい人生を送りましょうという内容の本です。その中のスポーツが与える三つの宝について、その要点を下記にご紹介します。

いじめ問題等が取沙汰されている昨今ですが、「鍛えよ、そして、可愛がれ」は、次世代を担う子供たちと接する人々に、今こそ求められていると言えるでしょう。

スポーツが与える三つの宝 (抄)

スポーツがわれわれに与えるところの三つの宝というのは何々か。私は、第一は練習の体験を持つということが、われわれスポーツによって受ける最も大なる恩恵の一つであると思ひます。練習によって不可能を可能にする体験、これをわれわれは体育会の生活によって得たと思ひます。

人類の歴史を大観すれば、その歴史というものは、私は大体において不可能を可能にしていく経路である。こう見ることができると思ひます。過去において現在に至るまで、人類は無数の不可能を可能にしてきたのであります。その不可能を可

能にするのはいかにして行われるのか。

第一は発見発明にあります。いま一つ不可能を可能にするものは何かといえば、練習であります。天才とは異常の努力をなし得る人が天才だという言葉がありますが、体育の問題につきましても、われわれは器用とか不器用ということは問題でなく、いかによく練習に耐え得るかということが大切である。それはまたわれわれの生涯にとっても極めて貴重な真理であると思います。

第二の宝はフェアプレーの精神です。フェアプレーというのは何かといえば、正しく戦え、どこまでも争え、しかし正しく争え、卑怯なことをするな、不正なことをするな、無礼なことをするな、こういうことです。

英語で、Be a hard fighter and a good loser! ということがあります。あくまでも果敢に戦うひと、そして負ける時に潔い人ということであり

ます。三つの宝の第三は友です。諸君が何を言っても誤解しない友、何でも言える友、喜びを分かち、また苦しみを分かち友、これを持たれることは諸君の生涯の宝であります。運動競技の体験を共にした間に得る友というものはこれは格別であります。花や木は太陽の光を得て育ちますが、われわれの心に持っている良いものはやっぱり良き友を持つことによって育つ。ひまわりという花は太陽の方に常に顔を向けるということですが、ひまわりに限らず、花も葉も日の光を得て植物は茂る。それと同じように、われわれの心に持つ良きものは、良き友を得て茂るのであります。その友を得る機会は人生のさまざまな場面においてありますけれども、運動の練習を共にした友、共に試合に出た戦友とも言うべき友、敵味方となって争ったその相手の人々、それはわれわれの生涯にとっても最も大切な友になり得るのであります。

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

◆プロスポーツテレビの見過ぎによる独断、偏見◆

中村 克宏

この頃はあまりテニス雑誌を見ておりませんが、この頃かではありませんが、打球の威力、ボールが重い、伸びるといったことに関する説明がはっきりしていないように思えます。言いたい結論から先にしますが、打球がラケットに乗って運ばれる距離が長い程威力が増すということです。

ボールがラケットで叩かれて空気抵抗と引力に

逆らってある距離飛んだときは、ある仕事量がなされたという事になります。このときの仕事(W)はラケットがボールに与えた力(F)とその力でラケットがボールを運んだ長さ(L)の積 $F \times L$ になります。また重いものを速く叩けば力は大きくなります $F = G$ (重さ) $\times V$ (速度) です、実際には速度ではなく加速度で仕事量も積分値になると思いますが簡単に定速度とします。これは威力のあるボールを打つためには重いラケットを速く振る必要があるということになります。これは個人の能力が大きく関係します。同じ人が重いラケットに代えれば振るスピードは落ちるはずですし、軽ければスピードは増すはず。加えて近ごろのラケット、ガットの改良、進歩は目覚しく、ラケットが軽くても相手のボールに弾かれる頻度はかなり減っているのではないのでしょうか。これに反して、 $W = F \times L$ のLはボールを叩いたとき時にラケットでボールをどのくらい長く運んだかということで、打球の威力を増す重要な要素であり訓練の結果が出易い要素でもあると考えます。

野球である投手のボールはバッターの手元でよく伸びるといって表現を聞きます。打球されたボールの終速は引力と空気抵抗の為に必ず初速より落ちます。終速が速く見えるのは速度の落ちる割合が少ないという事でしょう。野球解説を聞いてみますとこのような投手は球持ちがよい、打球を始めてからボールが手を離れるまで長いといわれます。時速130キロ台の投手で空振りを取れるのに160キロでほとんどバットに当てられている投手がいます。テニスでも野球でも初速に関わるのは主に力(F)、ボールを運んだ長さ(L)は終速に関係するということです。一見それ程速く見えないボールに振り遅れる経験は多分皆様お持ちでしょう。

また、相手のボールが重いというのはいろんな要素が絡んでいて簡単ではありません。ボールが無回転で空中を直進すればボールの後方は陰圧状態になりそこに周囲の空気がボールの進行を後押しするように流れ込みますので打ち返すにはそれに見合った余分な力が必要となります。フラットに打たれたスマッシュが重く感ずるのはこのためだと思います。或いは、逆に強い回転の掛かったボールを打ち返すときにその回転を殺して自分の回転にして打つ場合はその分の力が必要になるでしょう。しかし重いと感ずる時は相手の打球の終速が予測より速い為にタイミングが合わず、自分の打点で打てないあるいはスイートスポットを外す

◆ 平成19年度年間行事予定 ◆

開催日	行事名	会場	申込み締切日	コート数
4月16日(月)	Weekday 交歓会	宮城野原公園コート	自由参加	4
5月16日(水)	Weekday 交歓会	七北田公園コート	自由参加	4
5月26日(土)	年齢別ダブルス大会	七北田公園コート	5月16日必着	8
6月19日(火)	Weekday 交歓会	宮城野原公園コート	自由参加	4
6月29日(金)	夫婦ダブルス大会	シェルコムせんだい	自由参加	6
7月10日(火)	Weekday 交歓会	七北田公園コート	自由参加	4
7月28日(土)	混合ダブルス大会	シェルコムせんだい	7月18日必着	6
8月20日(月)	Weekday 交歓会	泉パークタウンTC	自由参加	4
8月28日(火)	Weekday 交歓会	南インターTC	自由参加	4
9月18日(火)	Weekday 交歓会	七北田公園コート	自由参加	4
10月11日(木)	Weekday 交歓会	宮城野原公園コート	自由参加	4
10月20日(土)	技量別ダブルス大会	七北田公園コート	10月10日必着	8
11月16日(金)	Weekday 交歓会	七北田公園コート	自由参加	4
11月17日(土) 18日(日)	対いわきVTC交流大会	いわき簡保センターコート	10月20日必着	5
11月23日(金)祝	連盟祭り大会	七北田公園コート	11月13日必着	8
H20年1月10日(木)	新春ダブルス大会・総会	シェルコムせんだい	自由参加	6
2月14日(木)	室内ダブルス大会	シェルコムせんだい	自由参加	6
3月13日(木)	室内ダブルス団体戦	シェルコムせんだい	3月3日必着	6

上表中、**太字**で書かれた行事に参加する場合は、前もっての申し込みが必要です。申し込みをする場合は会報内差し込みの連盟私製の「申込み用ハガキ」に**50円切手を貼り**投函して下さい。或いは官製ハガキに必要事項を明記して締切日までに申し込んで下さい。申し込みの受付は原則として締切り2週間前からとさせていただきます。

Weekday 交歓会は従来通り自由参加といたします。会場は七北田公園、宮城野原、シェルコム、泉パークタウン、南インターの5会場を使用します。参加費はシェルコムは1000円、他は700円です。都合のよい時間にお誘い合わせ参加して下さい。8月の会場は泉パークタウン、南インターのテニスクラブになりますので、間違いのないようご注意ください。

昨年同様に、総会は1月10日(木)の「室内ダブルス大会」時に、頃合を計り開催いたします。経費削減のため、昨年と同じく**その都度のご案内は省略**させていただきます。ご協力お願い致します。

上記の諸行事の他に、ねんりんびっくに関連した下記の大会が開催されます。こちらの方にもご参加頂けますよご案内いたします。

開催日	行事名	会場	申込み締切日
4月29日(日)	第11回宮城県テニスマスターズ春季大会	シェルコム	3月下旬
10月7日(日)	仙台市高齢者いきがい健康祭	七北田公園コート	9月上旬
11月10日(土)	宮城県テニスマスターズ秋季大会	泉総合運動場コート	10月上旬

マスターズ大会は、ねんりんびっくの宮城県代表の選考会を兼ねており、いきがい健康祭は仙台市代表を選考する大会となっております。いきがい健康祭のご案内は8月の「市政だより」に掲載されます。詳しくは担当の 北島 宏 (291-8583) までお問い合わせ下さい。

運営委員会の任務分担

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

担当任務	任務内容(兼務もある)
委員長 副委員長	本会を代表し委員会を統括する。 委員長を補佐し、ことある時は委員長を代行する。
競技部	四大大会要項作成・大会運営 Weekday 交歓会運営 Weekday 交歓会年間コート確保 Weekday 交歓会当番 技術普及
広報部	会報編集・発行 大会結果新聞掲載依頼
対外部	東北マスタース 対いわき VTC 交流大会 県南県北大会
県 T 協会	県テニス協会常任理事 春・秋マスタース大会 (競技部協力)
事務局業務 (兼務もある)	
会 計	予算決算書作成・口座管理 (出納用) 出納業務・収支決算 (各大会独立決算)
競技補助	大会掲示物準備・競技結果記録
総 務	総会進行記録・運営委員会案内 運営委員会進行・記録・会場手配 各部間の連絡調整 臨時発送文書手配 年間使用ボールの購入管理
幹 事 (事務局所在地)	会費徴収・口座管理 (会費入金用) 会員登録・入退会確認 会員名簿作成・パソコン管理 四大大会コート確保 総会議案書作成・案内 レプリカ管理・テニス保険

ることなく、県北や県南においても大会開催が可能になるような運営組織の構築と県南・県北会員のご協力が期待されます。

そのためには、県北や県南からも運営にご参加いただく必要性も考えられます。いずれにしろ、会員皆様の声をしっかり受け止めて、連盟運営に当たりたい所存ですので、ご支援ご協力を切にお願い申し上げます。



◆諸行事の参加申込方法◆

運営経費節減と事務処理の簡略化を図るため、前年より行事案内等について大幅な変更をいたしました。会員の皆さんにはご不便をお掛けすることもあると思いますが、何卒ご協力のほどお願い申し上げます。

一昨年までは、行事の案内はその度毎に「ご案内」をプリントし、各会員個人宛てに郵送しておりました。昨年は、行事の案内は会報内に各行事毎に分けてその要項を一括して掲載しました。今年も同様に、行事名、開催期日、会場、時間、参加費、申込方法、申込締切期日等が記載された要項を、次頁以下に掲載しております。参加の申込は会員専用の私製ハガキを会報に閉じ込みましたのでご利用下さい。この「申込ハガキ」に必要事項を記入して**必ず50円切手を貼り**締切期日までに届くように投函して下さい。

「ご案内」掲載行事は、**年齢別ダブルス大会、混合ダブルス大会、技量別ダブルス大会、連盟祭り、対いわきVTC親善試合、東北テニスマスタース、室内ダブルス団体戦**および県テニス協会より協力依頼のありました**宮城県テニスマスタース春秋両大会**です。連盟主催行事につきましては会報「年間行事予定表」に申込締切期日が記載されておりますのでご参照下さい。**Weekday 交歓会**は例年どおり自由参加とし、都合の良い時間に参加してください。会費はシェルコムせんだいは1000円/人、他の会場は700円/人の予定です。宮城野原コートは駐車場が不便なので回数を減らし、代わりに今年は七北田公園コートを利用することにしました。夏季のWeekday 交歓会は泉パークタウンTCと南インターでの開催となります。会場の案内図を同封しましたので参考にして下さい。

雨天等により大会が中止になった場合、会場等の都合で開催期日および会場が変更された場合等のご案内は別途お知らせいたします。

私製「申込ハガキ」には「連絡用」の欄が設けてあります。皆さんのご意見やご要望がありましたら遠慮なく委員会まで届けてください。

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

年齢別ダブルス大会要項

期日：5月26日（土）09：00～17：00
08：45までに集合。

会場：七北田公園コート（砂入り人工芝コート8面）
種目：女子；110+、120+、130+、140+
男子；120+、130+、140+、150+
（平成19年12月31日現在満年齢）

試合方法：各種目とも原則としてラウンドロビン方式。
参加費：1200円/人（当日会場にて徴収します）
表彰：各種目毎に 優勝、準優勝、第3位まで表彰しま
す。（ただし、参加組数により変わります。）
入賞者を除きお楽しみ抽選会があります。

参加申込：所定の「申込ハガキ」あるいは「官製ハガキ」
に必要事項を明記して申し込んで下さい。
過去に優勝した組は、パートナーを替えるか、
若い年齢種目に出場して下さい。単独での申
込も可ですがパートナーはご一任下さい。

申込受け付け期間：5月1日～5月16日。

申込締切：5月16日必着です。

申込み先：

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

混合ダブルス大会要項

期日：7月28日（土）09：00～17：00
08：45までに集合。

会場：シェルコムせんだい（砂入り人工芝コート6面）
種目：混合ダブルス Aクラス、Bクラス、Cクラス、
Dクラスの4種目。

試合方法：各種目とも原則としてラウンドロビン方式。
参加費：1200円/人（当日会場にて徴収します。）
表彰：各種目毎に 優勝、準優勝、3位まで表彰します。
（ただし、参加組数により変わります）
入賞者を除きお楽しみ抽選会があります。

参加申込：所定の「申込ハガキ」あるいは「官製ハガキ」
に必要事項を明記して申し込んで下さい。
過去に優勝した組は、パートナーを替えるか、
上位のクラスに出場して下さい。単独での申
込も可ですがパートナーはご一任下さい。

申込受け付け期間：7月1日～ 7月18日

申込締切：7月18日必着です。

申込み先：

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

技量別ダブルス大会要項

期日：10月20日（土）09：00～17：00
08：45までに集合。

会場：七北田公園コート（砂入り人工芝8面）
種目：女子；Aクラス、Bクラス、
男子；Aクラス、Bクラス、
C(D)クラス(フリー)：女ダブル、男ダブル、混合でも可。

試合方法：各種目とも原則としてラウンドロビン方式。
参加費：1200円/人（当日会場にて徴収します）
表彰：各種目毎に 優勝、準優勝、3位まで表彰します。
（ただし、参加組数により変わります。）
入賞者を除きお楽しみ抽選会があります。

参加申込：所定の「申込ハガキ」あるいは「官製ハガキ」
に必要事項を明記して申し込んで下さい。過去に
優勝した組は、パートナーを替えるか、
上位のクラスに出場して下さい。単独での申込も
可ですがパートナーはご一任下さい。

申込受け付け期間：9月25日～10月10日。

申込締切：10月10日必着です。

申込み先：

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

連盟祭り大会要項

期日：11月23日（金祝）09：00～17：00
08：45までに集合。

会場：七北田公園コート（砂入り人工芝8面）
種目：女子ダブルス、男子ダブルス、混合ダブルスによ
る団体戦。

試合方法：参加者全体を4組に分け、各組毎に女子ダブ
ルス、男子ダブルス、混合ダブルスペア - を
作り種目毎の対戦を行う。

参加費：1000円/人（当日会場にて徴収します）
表彰：各種目の成績を集計し1位、2位、3位、4位の
順に表彰し賞品の授与があります。

参加申込：所定の「申込ハガキ」あるいは「官製ハガキ」
に必要事項を明記して申し込んで下さい。全体の
バランスをとるために委員会で組み分けおよびパ
ートナーを決めさせていただきます。

申込受け付け期間：11月1日～11月13日

申込締切：11月13日必着です。

申込み先：

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

対いわきVTC交流大会要項

今年で20回目の交流大会、今年度はいわきVTCが主管です。昨年「グリーンピア岩沼」を会場に当連盟が担当し、盛況のうちに終了しました。2日間にわたる交流会では、コートでの熱戦を夜の「宴会場」に移し「隠し芸」対抗戦も織り交ぜて和気あいまいの内に親交を深めました。

現在いわきVTCが準備進行中ですが、判明している日程等を中心にご案内致しますので、日程調整の上奮ってご参加下さい。

期日：11月17日(土)、18日(日)

会場：いわき簡保センターコート 5面

参加費：15,000円(宿泊、宴会、コート代含む) 予定

参加申込：所定の「申込ハガキ」または「官製ハガキ」に必要事項を明記して申し込んで下さい。

参加申込者には、集合時間、解散時間等の詳細について後日ご案内いたします。

申込期間：9月23日～10月20日

申込締切：10月20日必着です。

申込先：

東北マスターステニス大会要項

第17回目を数える東北テニスマスタース大会、詳細は大会事務局より送付される開催要項待ちとなりますが、現時点で判明している範囲内のご案内となります。

期日：10月10日(水)、11日(木)の二日間

会場：福島県福島市「福島市庭球場」

(砂入り人工芝12面、グリーンサンド6面)

開催種目：女子；110+、120+、130+、140+

男子；120+、130+、140+、150+

(平成19年12月31日現在の合計年齢)

以上8種目のダブルス個人戦です。

参加申込：諸経費は昨年なみの予定(下記)。

参加費 3000円、宿泊費 12000円(懇親会費含む)

弁当代：1、2日目とも8000円

宿泊場所未定(土湯、飯坂温泉、市内の3箇所予定、宿泊場所により費用には多少の変動が予想されます)。

エントリー数の制限(各県1種目3組まで)。

参加希望の方は所定の「申込ハガキ」で申し込んで下さい。申込み者には詳細が判明次第連絡申し上げます。

申込期間：6月15日～7月10日

申込締切：7月10日必着

申込先：

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

室内ダブルス団体戦要項

参加者全体を4ブロックに分けて、女子ダブルス、男子ダブルス、混合ダブルスの3種目を行います。恒例の団体戦ですから実施内容についてはご存知の通りです。3月開催ですので、屋外でも絶好の「テニス日和」の日もありますが、確実性を求めて室内コート(シェルコムせんだい)を確保いたしました。奮ってご参加下さい。

期日：平成20年3月13日(木) 0:00～17:00
8:45までに集合

会場：シェルコムせんだい

参加費：1000円/人

参加申込：所定の「申込ハガキ」または「官製ハガキ」に必要事項を明記して申し込んで下さい。

申込期間：平成20年2月21日～3月3日

申込締切：平成20年3月3日必着です。

申込先：

宮城県テニスマスタース春、秋大会要項

宮城県テニス協会から県協会主催行事である上記春秋両大会の大会要項が届きました。当連盟宛て大会主管と会員諸氏への通知依頼がありましたのでお知らせします。春季大会の結果は本年10月開催の「ねんりんピック茨城大会」、秋季大会の結果は来年10月開催の「ねんりんピック鹿児島大会」の選手選考資料とするとのことです。「ねんりんピック」に出場を希望される会員諸氏はぜひご参加下さい。県テニス協会への「個人登録」の必要はありません。

開催種目：女子；55歳+、60歳+、65歳+

男子；60歳+、65歳+、70歳+

年齢は「ねんりんピック」開催年の4月1日現在の満年齢です。

参加料：1000円/人(当日納入)

参加申込：当連盟会員に限り所定の「申込ハガキ」に必要事項を明記して申し込んで下さい。県協会あての直接申込も可能です。

春季大会 期日：4月29日(日祝) 09:00～

会場：シェルコムせんだい

申込締切：4月23日必着

秋季大会 期日：11月10日(土) 09:00～

会場：泉総合運動場テニスコート

申込締切：11月5日必着

申込先：!

他の詳細は県協会または連盟事務局までお問い合わせ下さい。

◆ アンケート結果の概要とその対応策 ◆

WD 交歓会係

Weekday (WD) 交歓会に関するアンケートの回答は40人の会員の方々からお寄せ頂きました。ご協力ありがとうございました。結果を一言で言うのは難しいのですが、下表にまとめましたように、WD交歓会の運営に参考となる建設的なご意見が多く見られました。

特に、駐車場が不便で不評の宮城野原コートから七北田公園コート或いは泉総合運動場コートへの変更をというものと、また、交歓会のあり方については現行通りでよいとの回答の一方で、同レベル同士でゲームが出来る技量別コート・時間帯の設定をという要望が際立っていました。ワンポイントレッスンは好評で、今後も継続をとの意見が多く見られました。

運営委員会でこれらの結果を検討し、本会報差し込みの「Weekday 交歓会の実施要領」に示すように、宮城野原コートを3回だけにし、七北田公園コートを4回使用することにし、技量別コートについては、コート設定は別にして、まずは時間帯のみの設定(午前)をやってみることにしました。ワンポイントレッスンは継続すること、名札を着用することなども決めました。どうか皆さん、「年間行事予定表」や「主要大会要項」を参照され、いきいきテニス連盟の諸行事を存分にお楽しみ下さい。これからも随時ご意見をお寄せ頂き、楽しいWD交歓会の運営にご協力お願い致します。

アンケート回答結果のまとめ

交歓会参加回数	0回 (17人)	1～3回 (16人)	4回以上 (7人)	計
1.参加出来なかった理由	・他の予定と競合 4	・同左 1		5人
	・勤務・体調不良・家事 3	・同左 1	・同左 1	5人
	・宮城野原会場駐車場の不便 3			3人
	・クラブ内テニスとの競合 2			2人
	・レベルの違い 1	・場所が遠い 1	・同左 1	2人
2.新年度の参加予定回数	・0回 3	・0回 2		5人
	・1～3回 3	・1～3回 4		7人
	・4回以上 3	・4回以上 10	・4回以上 4	13人
3.WD交歓会のあり方	・宮城野原駐車場の不便大いに問題 1	・同左 2	・同左 2	5人
	・七北田or泉コートを会場に 1	・同左 1	・同左 2	4人
	・現行通りで良い 3	・同左 1		4人
	・特にない 3	・同左 1		4人
	・同レベル同士のコート設定を 3	・同左 1		4人
	・楽しくプレーできる雰囲気 2	・同左 1		3人
	・上級者は初級者に声かけを 1	・同左 1		2人
		・仲間同士でのゲームばかりは疑問 2	・上級者との対戦実現は係りの世話必要 2	2人
4.ワンポイントレッスン	・現行通りあった方が良い 5	・同左 6	・同左 2	13人
	・基礎・試合運び・マナーを 1	・試合形式でボレー中心に 1		
	・県トップクラスの指導者を 1	・希望者あれば実施を 1		
5.その他	・県トップクラスの模擬試合の見学も 1	・会場は個人的交通便から宮城野原 1		
	・特になし 1	・新人なので顔を覚えたいし覚えられたい 1		

みやぎいきいきテニス連盟

会 員 名 簿



平成19年3月15日 現在

氏 名

青	木	興	一
青	木	允	成
青	木	美智子	
浅	野	正	司
浅	野	由利子	
跡	辺	清	子
阿	部	昭	彦
阿	部	眞知子	
阿	部	ちづ子	
阿	部	彦	人
阿	部	秀	子
有	賀	吟	生
有	賀	昌	子
池	田		稔
池	田	洋	子
井	澤	秀	雄
井	澤	三	幸
石	井	好	子
石	垣	晴	子
石	亀	幸	子
石	川	トヨ子	
石	田	泰	子
石	田	哲	也
石	田	美津子	
石	塚	十三一	
石	戸	谷	実
石	橋	りつ子	
伊	東	清	志
伊	東	はつ子	
伊	藤	一	利
伊	藤	ひろみ	
糸	井	郁	子
猪	股	つや子	
岩	井	隆	太郎
岩	佐	義	紀
岩	月	賢	一
岩	月	尚	文
岩	月	矩	之
岩	淵	剛	也
内	山	定	男
梅	崎	千枝子	
海	野	哲	夫
遠	藤	慶	子
大	賀	延	行
大	賀	やす子	

氏 名

大	内	春	美
大	澤	弘	子
太	田	せつ	子
大	坂	俊	明
大	坂	敏	子
大	槻	良	子
大	場	幸	男
大	谷	昌	子
大	山	邦	彦
大	山	真理	子
小	川	昌	子
置	田	輝	雄
置	田	眞樹	子
奥	井	紀美	子
荻	原	栄	子
小	野	泰	祐
小	野	勝	道
笠	井		幸
笠	井	洋	子
片	平	信	行
加	藤	精	一
加	藤	丈	夫
加	藤	信	子
加	藤	忠	義
加	藤	元	浩
金	子	利	幸
鹿	野	邦	彦
鎌	田	勝	夫
鎌	田	修	一
神	山	智	明
川	口	温	弘
菅	野	義	治
菅	野	志津	子
菅	野	桂	子
川	島	民	子
菊	池		功
菊	池	克	彦
菊	池	昭	男
菊	池	啓	子
菊	池	繁	夫
北	野	寿	一
北	野	妙	子
北	島		宏
北	島	さ	と
木	村	多喜	雄
木	村	むつ	子
北	村	信	也
久	保	寿	一
工	藤	和	夫

氏 名

工	藤	昌	清
工	藤	真理	子
桑	原	義	美
劔	持	勝	衛
劔	持	啓	子
郷	右近	勝	子
小	関	美樹	子
後	藤	真	一
後	藤	玉	子
神	松	伊三郎	
小	田島	政	勝
小	林	富美	子
紺	野	規	子
西	城	啓	子
齋	藤	昭	男
齋	藤	セイ	子
齋	藤	幸	枝
酒	井	秀	章
酒	井	倭	子
坂	本	政	祀
坂	爪	ミヤ	ヤ
桜	井	ノリエ	
佐々	木	京	子
佐々	木	宏	昭
佐々	木	正	敬
佐々	木	惠	子
佐	藤	信	二
佐	藤	みつ	子
佐	藤	勝	子
佐	藤	克	夫
佐	藤	良	枝
佐	藤	富	男
佐	藤	清	二
佐	藤	尚	武
塩	地	惇	一
塩	地		照
色	摩	浩	三
色	摩	美津	代
柴	田	教	行
柴	田	登	子
渋谷	谷	妙	子
渋谷	谷	陽	子
渋谷	谷	み	よ
嶋	田		鼎
嶋	田	園	子
首	藤	紀	子
庄	司	信	雄
庄	司	勝	子
城	田	陽	子

氏	名
白根	晴男
白根	早苗
篠田	幸子
杉山	晟
鈴木	総一郎
鈴木	暎子
鈴木	義昭
鈴木	秀子
菅原	香子
清野	利雄
関	郁子
曾根	幸治
台野	清子
高橋	利次
高橋	捷夫
高橋	重郎
高橋	孝男
高橋	武也
高橋	龍夫
高橋	哲太郎
高橋	恒男
高橋	明子
高橋	昌明
高橋	日出男
武田	義子
滝本	光子
多久	堯夫
太宰	芳郎
但野	久雄
館	正隆
館	繁子
館内	規之
田中	稔
棚橋	美恵子
玉山	豊
玉山	梅子
丹治	真木子
千葉	俊司
千葉	みちこ
千葉	和子
千葉	鴻二
中鉢	不二雄
千坂	三月
外山	坦
長沢	仁
長沢	光子
中川	和子
中村	克宏
中村	行秀

氏 名

浪岡	亮
南谷	裕洋
南谷	綾乃
奈良	征一郎
新田	英昭
長谷川	幸子
土生	寛
花田	修治
樋口	義修
樋口	美也子
日高	登志子
平井	正光
平井	郁子
福士	レイ
藤田	吉雄
藤沢	多巳夫
布留川	三枝子
深谷	實
星	将博
星	公子
星	健輔
星	猛夫
星川	登
保志	則行
本野	日出子
増田	惠子
松尾	美代子
松下	洋子
松山	眞水
丸子	和子
丸谷	美智子
三浦	邦夫
三浦	幸子
三木	武吉
三木	和子
光本	静夫
美村	憲輝
美村	景子
宮沢	千秋
村上	和夫
村上	實
目黒	祐子
本林	高利
守田	忠
本野	ゆみ子
八重樫	卜モ
安田	勇
矢田	慶治
矢崎	則彦

みやぎいきいきテニス連盟 規約

総 則

第1条 本会はみやぎいきいきテニス連盟と称する。

第2条 本会は次に掲げる正会員、特別会員および賛助会員を以て構成する。

正会員：宮城県内に居住または勤務する、男子60歳以上、女子55歳以上のテニス愛好者とす。ただし、正会員が県外に転出した場合は本人の希望により正会員の資格を継続することが出来る。

特別会員：正会員の中で80歳以上の会員を特別会員とする。

賛助会員：本会の趣旨に賛同し、本会の活動を支援する個人及び団体。

第3条 本会はテニスを通じて、会員の健康増進と相互の友好をはかることを目的とする。

第4条 本会はその目的を果たすため次の活動を行う。

- (1) テニス大会
- (2) テニス練習会
- (3) 会報の発行
- (4) その他、本会の趣旨に沿い運営委員会にて企画されたこと。

会 計

第5条 本会の事業年度は12月1日に始まり翌年の11月末日に終わる。

第6条 本会活動に必要な経費は正会員の納める年会費、大会、練習会等ごとに徴収する参加費及びその他の寄付金を以てあてる。

第7条 正会員は年会費を納めなければならない。ただし、特別会員はこれを免除される。年会費の総額は総会で定める。

第8条 運営委員会は年度末に翌年度における諸活動の実行計画およびそれに伴う予算案ならびに、当年度の決算案を作成し、総会の承認を得なければならない。

第9条 当年度の予算案に提示されていない緊急臨時の費用については運営委員会の議を経て支出することが出来る。但し、この場合においては次の総会に報告し、総会の承認を得なければならない。

第10条 会費の納入期限は毎年6月末とする。納入なき場合は休会扱いとし、以後の通信連絡は行わない。年度内に納入なき場合は退会扱いとする。

役員 および 役員会

第11条 本会の活動を組織的に実行するため次の役員をおく。

運営委員：本会の諸活動の具体的な企画およびその実行計画を策定実施するため、必要数の運営委員を置く。運営委員の任期は1年とし、前

年度の総会において選出する。再任または重任を妨げないが、原則として引き続いて3年を超えることはできない。

委員長および副委員長：運営委員の互選により委員長1名を選定する。副委員長は運営委員の中から1ないし2名を委員長が指名する。委員長は本会を代表するとともに、第12条に定める役員会を招集しその議長となる。副委員長は委員長に事故あるとき委員長の役を代行する。

幹事：運営委員会が計画実行上必要と認めるときは業務に精通した若干名の幹事を委嘱することが出来る。幹事は運営委員会の議に加わり前年度の総会で委嘱された事項の実務を担当する。幹事の任期は1年とし、再任または重任を妨げない。

会計監事：2名の会計監事を前年度の総会において選出する。会計監事は会計委員の行う業務の監査を行う。任期は1年とし、再任または重任を妨げないが、引き続いて3年を超えることはできない。

第12条 本会の活動方針を協議し、実行計画を策定し、また会務を掌理するために次の役員会を開く。

運営委員会：運営委員および幹事で組織し、会の諸活動を具体的に企画実施するための協議を行い、かつ、会務を掌理する。

総会：役員を含む全会員で構成し、本会の活動方針の大綱を定め、運営委員会の提示する活動計画案、予算案および決算案を審議する。総会は会員の十分の一以上の出席によって成立する。また、委任状を以て出席に代えることが出来る。

第13条 本会の事務を処理するために事務局を置く。

付 則

第14条 本規約に定める他、本会の諸活動の具体的な企画実施に必要な細則は運営委員会で定めるものとする。

第15条 本規約の改正は総会の議決による。

細 則

第16条 平成14年12月1日現在、60歳未満の男子会員および55歳未満の女子会員は正会員として当連盟に留まることが出来る。年齢別大会等の実施内容については、その時点の状況を考慮し、運営委員会において検討を行い善処する。

(平成8年3月26日改正)

(平成9年12月6日改正)

(平成14年12月7日改正)

(平成15年12月6日改正)

歓迎！！ 投稿

会報への投稿を歓迎します。

本会への入会の動機、活動に対する感想、テニスに関する談・論、技術論、体験談、観戦記、遠征記、楽しかったこと、悔しかったこと、あるいはテニスに直接関係ないことでも結構です。ご自分の属しているクラブの活動状況や、

会員募集など、また、当テニス連盟へのご希望やご意見、ご提言などでも結構です。長さは特に制限はありませんが、1200字前後、写真付でも結構です。広報係まで、どうぞ奮って投稿して下さい。

平成19年度役員と担当任務

委員長	中村 克宏	全体統括		
副委員長	和田 忠彦・奈良 征一郎	総務・対外部		
運営委員	青木 興一	県テ協常任理事・競技	運営委員	佐々木 正敬 会計主任・競技
	佐々木 宏昭	競技主任・県テ協会		八重樫 トモ 会計・競技
	土生 寛	W.D主任・競技		松山 眞水 広報主任・競技・県テ協会
	外山 坦	W.D・競技・対外部		樋口 美也子 広報・競技
	千葉 みちこ	総務・競技		大坂 俊明 広報・競技・W.D
	大谷 昌子	競技・総務		中村 行秀 広報・競技
	跡辺 清子	競技・会計		布留川三枝子 広報・競技
	山崎 由美子	競技	幹 事	大賀 延行 事務局・競技
	色摩 浩三	対外部		高橋 龍夫 事務局
	菊地 繁雄	対外部	会計監事	白根 晴男
				安田 勇

編集後記

☆昨年は、当連盟創立20周年を迎え、記念号を発行し、皆さんにお届けしました。記念号には広報を担当して、特別な思いがあります。

今年38号が出来ました。皆さんからの沢山のご寄稿ありがとうございました。広報では少しでも見やすい様にと、写真やイラストを入れたり、活字を10.5ポイントから、11ポイントにしたりと工夫しました。如何でしょうか。年に一度の発行で、年間の大事な行事や連絡事項を載せています。熟読をお願いします。

会員の皆様からの楽しいお話し、お勉強になるお話し等々、盛り沢山です。必ずお目を通して下さいね。私は、運営委員（広報担当）を、38号の発行をもって退任しました。会員の皆様、ありがとうございました。（梅崎千枝子）



編集発行 みやぎいきいきテニス連盟運営委員会
事務局